



日本共産党文京区議会議員

mandatedachi 幹夫 通信

2008年7月18日号 No.58

みなさんをいつもまんやかに

区議団控室：5803-1317 (直通)

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/でもご覧いただけます》



鉄筋、鉄骨などの資材の値上がりは激しく、この間60%増だそうです。

今週から、毎年恒例の「区議団主催の」来年度予算要望に関する懇談会が始まりました。懇談会を開いています。約110団体に懇談を申し入れ、返事をいただいたところから順次開催しています。多い時には午前、午後、夜と続き、貴重な話に懸命にメモをとっています。先日はある業界団体と懇談、「資材の高騰分を請負価格に上乗せしてくれなければ赤字になってしまう」とのお話でした。最近では自治体が発注する仕事も以前の半額くらいに抑えられている実態があるといえます。そのうえに近年の原油高騰を受けての材料費の値上げです。

「資材の高騰を請負価格に反映してほしい」「大手だけでなく、中小業者にも仕事をまわしてほしい」

様々な要望がだされました。懇談会は今月いっぱい続きます。

「日本共産党と語る会」開催

私たちの年金はどうなる？すでに診療抑制が始まっている？

みなさんに呼びかけた、小石川・白山・西片・春日地域の「共産党となんでも語る会」を13日に開きました。第一回目はとくにテーマを設けずに自由になんでも話していただきました。暑い中17名の方々のご参加に感謝申し上げます。

「日本では25年、40年と保険料を払わなければ年金がもらえない。フランスは3年と聞きました」とか早速「歯の洗浄が月一回が3か月に一回にされた」など、福祉、医療制度の問題で次々意見がでました。次回はより工夫してさらに充実させたいと思います。



「この6月、東京都は公共工事の契約後の資材高騰分を追加して支払う「単品プライド条項」を鋼材と燃料油に適用することを、28年ぶりに決めました。文京区でもストディーに請負価格の見直しができるようにすることが求められます。一のほか、「耐震補強工事への助成をもっと利用しやすい」とか、医療関係者からは「医師会によってまちまちな特定健診の業務の見直しを」...など、要望がだされました。来週も予定がぎっしりです。



- 11日 朝、後楽園駅頭での宣伝。今週はこの「まんだち通信」をピラとして配りました。反応は、ちょっとわかりませんが、夜、「将来ビジョン検討委員会・小学校部会」の傍聴。これから「魅力ある学校づくり」の討議がすすみます。
- 13日 午後、「共産党と語る会」開催（左記事参照）。クーラーのない事務所（みなさん団扇を片手に、暑い中ありがとうございました。）
- 15日 午前、障害者施設をもつ団体と懇談。「心の繁栄こそ大事。税金を心が豊かになるように使ってほしい」と、言われたのが印象的でした。
- 夜、「春日後楽園駅前市街地再開発」の「環境アセスメント説明会」出席。結論を示して、説明不足が気になります。

まんだち通信